【Press Release】

2017年4月5日
株式会社ＢＦＴ

仕事とプライベートを両立！ＩＴ業界に必要不可欠なコミュニケーションとリフレッシュを促進！

# ＢＦＴワークライフバランスプロジェクト始動！

多方面からＳＥをサポートし、より楽しく、より働きやすい環境をつくる新制度を導入

株式会社ＢＦＴ（東京都千代田区：代表取締役社長 小林 道寛、以下ＢＦＴ）は、各種資金援助制度を備えた、ワークライフバランスプロジェクトを開始いたします。

「ワーク・ライフ・バランス」は、仕事と生活の調和を意味し、仕事と生活を両立させることで人生の生きがいや喜びが倍増するというものです。昨今ブラック企業や長時間労働といった働き方が問題視されており、現在の日本の働き方を見直す取り組みが注目されるようになりました。企業のみならず、厚生労働省では各々が納得のいく働き方を実現するため、「働き方改革」の実現への取組を進めており、官民一体となって「ワーク・ライフ・バランス」の向上に向けて取り組んでいます。

このような中、ＢＦＴでは「ＢＦＴワークライフバランスプロジェクト」を開始いたします。プロジェクトは「仕事」と育児・趣味・学習・休養といった「仕事以外の生活」との調和をとり、社員のこの両面を充実させることが目的です。

ＢＦＴには一般的な労働組合に相当する組織として「社員会」があり、社員会の代表は社員から選挙で選出されています。ＢＦＴワークライフバランスプロジェクトでは、この社員会と経営陣が協力して社員の現状把握と新制度の企画・立案を行っています。プロジェクトにおいて重要視している観点は次の二つです。

一つは「コミュニケーション量の確保」。ＢＦＴはシステムエンジニアが社員の多くを占めており、その業務を円滑に進めるには社員間のコミュニケーションが非常に重要です。ＢＦＴではこの仕事におけるコミュニケーションだけでなく、休日の同好会活動や勉強会といった仕事以外のコミュニケーションの確保にも注力しています。もう一つは「働く上での不安の払しょく」。働きやすさを重視し、転居や上京時の引っ越し費用の援助や、シングルマザーの方への援助、高額にもなる資格取得の援助など、金銭的な不安を払しょくする各種制度を導入しています。

IT業界は労働環境が過酷であるというイメージが定着していますが、ＢＦＴでは常に快適な職場環境を目指して社内制度を検討し、いち早く導入していきます。

## ■新規制度

### 【 10万円を超える資格取得費も補助！資格取得費用援助制度「スキルアップサポート」】

ＩＴ業界の資格は、申し込み後すぐに受験できるもの以外に高額なベンダ研修を受講して受験資格を得ないと受験できないものがあります。また、製品のバージョンアップで資格が失効してしまうものや定期更新を必要とするものもあります。上位資格を取得するには10万円を超える費用が必要になる場合もあります。ＢＦＴでは、費用がネックとなり資格取得を敬遠することがないよう社員の向上心を金銭面でサポートします。結果としてAWS・Cisco・Oracleといった資格の取得者も多く在籍しています。

### 【最大12万円超！課の交流の機会をバックアップ！お食事会支援制度「コミュニケーションサポート」】

課の予算として社員一人につき、毎月6,000円、年間72,000円を課経費として割り当てます。その課経費を課の懇親会や食事会で使用することができる制度が「コミュニケーションサポート」です。所属社員の多い課ではひと月額12万6000円の予算があり、その予算は半期内の繰り越しも可能です。そのため、年度末に屋形船を借り切ったり、イベントホールを貸し切ってカラオケ大会をするなど、社員が希望する飲みにケーションを行うことができます。社員が集まる機会を金銭的に後押しし、コミュニケーションを活性化させることで、チームの信頼関係やモチベーション向上に寄与します。

### 【チームのニーズに合わせて使える活動費！チーム活動支援制度「チャレンジサポート」】

前述の課の予算に加え、社員一人につき年間10,000円を班活動費として割り当てています。ＢＦＴでは課の下位の組織に班があります。班のリーダは主任でその定員は最大5名になります。主任が年間最大50,000円を自分の裁量で班員のために使える制度が「チャレンジサポート」です。使途も「班員のため」以外に制限されていません。班員の啓発のため教育に使うことも、親睦を深めリフレッシュするため旅行に使うことも、みんなで挑戦したいことに使うことも可能です。幅広いニーズに合わせたサポートにより、社員のリフレッシュやチャレンジを促進します。

**【多くの社員と関わるチャンスを新卒に！新卒採用者支援制度「ウェルカムサポート」】**
　ＢＦＴには新卒社員をフォローするメンター制度があります。メンターはメンティー（フォローされる側）の新卒社員に複数の先輩社員を紹介することがルールとなっており、新卒社員は１年目から組織を超えて多くの社員と交流することができます。メンターの活動費として新卒社員一人あたり毎月10,000円が予算として割り当てられており、新卒社員はメンターから人間関係を広げるためのサポートを受けることができます。

**【上京に必要な資金を貸与！上京支援制度「ムービングサポートプラス」】**
　ＢＦＴの本社は千代田区丸の内にありＪＲ東京駅が最寄り駅になります。地方の方がＢＦＴへ入社する際は引越しが必要になります。その引越し費用や東京での生活準備費用で資金が必要になる場合は入社前の内定者であっても準備資金を貸与します。これにより金銭面の不安を解消し東京でスムーズに働き始めることができます。

**【仕事を続けたいママを金銭面でサポート！シングルマザー支援制度「シングルマザーサポート」】**
　離婚や死別により、シングルマザーとなった女性の子育てと仕事の両立を支援する制度です（シングルファーザーについても同様）。このような状態になると仕事と子育ての両立ができなくなり金銭面の問題に直面します。ＢＦＴではシングルマザーになっても働き続けられるように、子供が小学校を卒業するまで長期的に生活費や養育費をサポートします。

**■既存制度**

**【引越し支援制度「ムービングサポート」】**
　ＢＦＴではプロジェクトによって顧客企業が用意するプロジェクトルームで勤務する場合があります。そのプロジェクトルームが社員の自宅から遠い時やプロジェクト期間が1年以上になる時に、自主的にプロジェクトルームに近い場所へ引越す社員が増えています。こうした現状を受けて引越し支援制度を導入しました。この引越し支援制度「ムービングサポート」では上限50,000円まで引越し費用を会社が負担し経済面で社員を支援します。

**【長期休暇制度「フリーバケーション 2week+」について】**
　「フリーバケーション 2week+」とはプロジェクト終了後に２週間以上の休暇を取得できる制度です。プロジェクト終了後、海外旅行で心身をリフレッシュしたり、キャリアアップのため自己学習の充実を図ることもできます。その結果、社員のモチベーション向上や、業務の効率化及び品質向上が期待できると考えています。もちろん日頃から上司による定期的な面談や、過重労働時には産業医による面談を行い、「デスマーチ」に追い込まれない勤務状況の管理を徹底しています。

**【会社概要】**

| | |
|---|---|
| 社名 | 株式会社ＢＦＴ |
| 設立年月日 | 1994年2月1日 |
| 資本金 | 9,990万円 |
| 代表取締役 | 小林　道寛　（Kobayashi Michihiro） |
| 従業員数 | 287名　（2017年4月時点） |
| 住所 | 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5　丸の内北口ビルディング22階 |
| 公式HP | http://www.bfts.co.jp/ |

株式会社ＢＦＴは情報システムを構築する会社です。
「より付加価値の高い情報システムを提供しつづけること」を大切に３つの事業を行っております。

(1) インフラ基盤構築　サーバ環境構築・ネットワーク環境構築 ・クラウド環境構築
(2) システム開発　　オープン系システム開発
(3) 教育サービス　　オンサイトトレーニング「ＢＦＴ道場」